

取手市内の公衆電話の位置を探れ!

江戸川学園取手中学校 1年3組40番 武藏 瑞樹

《動機》

震災時や通信障害、太陽フレアによる衛星通信障害などにより、携帯電話の使用ができなくなるリスクが高まっている。そのときに、事前に公衆電話の位置を知っておくことで緊急時に対応できると思った。

《目的》

取手市内を6つの地区に分けて、公衆電話の位置や種類、地区ごとの数を調査し、分布図を作ることで、携帯電話が使用できない緊急時に役立つ。

※地区分けは概ね市立中学校の学区とした。

《調査方法》

インターネットを使い、公衆電話の位置を調べ、実際に調査に行き、地図にまとめる。地区ごとに公衆電話の数を調べ、地区ごとの人数に対する公衆電話の数を調べる。

取手市内の公衆電話マップ



よく街中で設置されている公衆電話の型...①



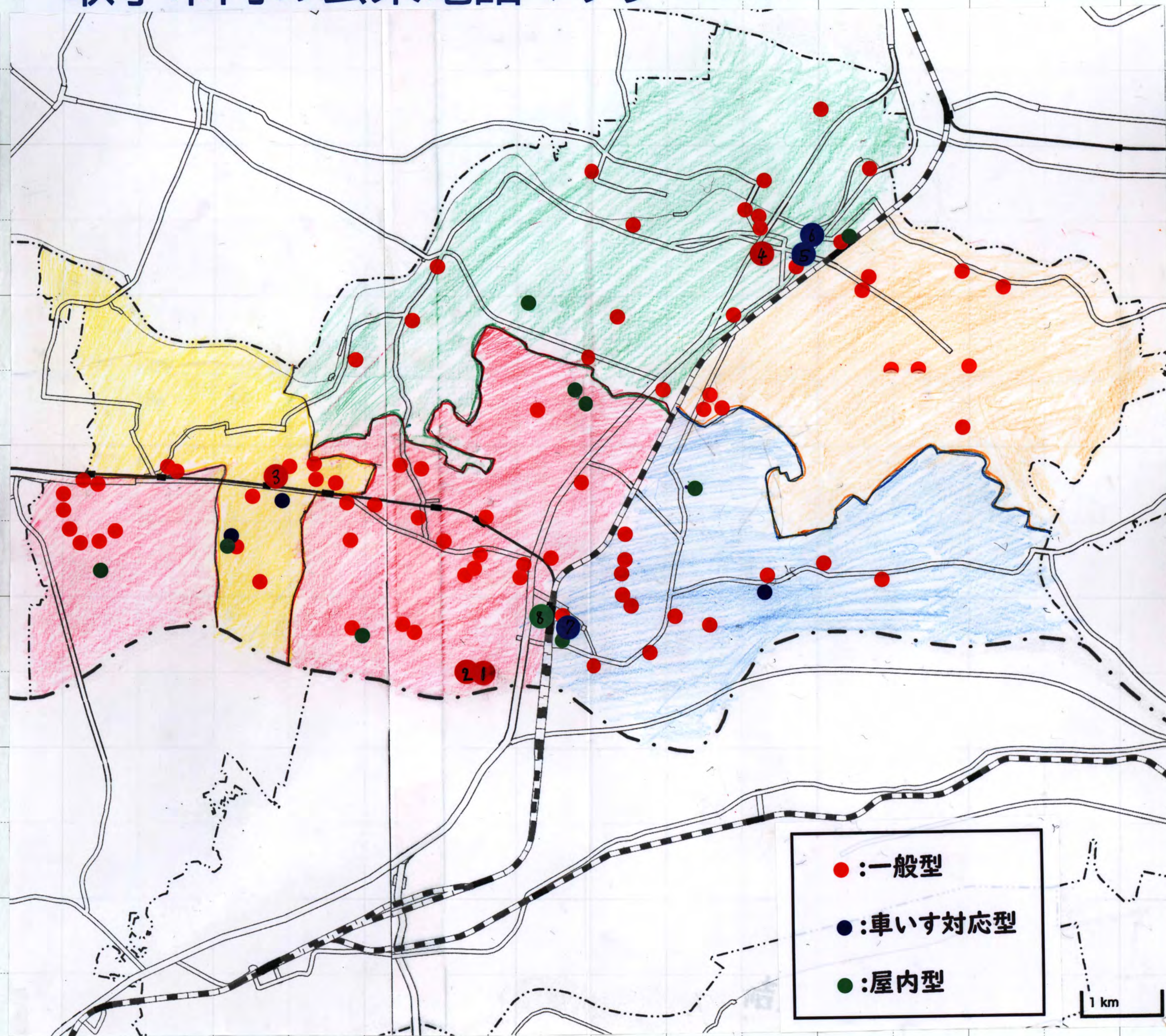
ボックス型の公衆電話...②
特徴...入り口が狭い
段差がある
防音効果あり



駅周辺に設置されていることが多い...③



コンパクトな公衆電話...④
屋根がない



一般型と車椅子対応型...⑤
車椅子型は数が少ない
ベビーカーも入る



車椅子対応型...⑥
手すりが設置されている
椅子が設置されている



車椅子対応型...⑦
電話機や棚が低く設置されている



屋内型公衆電話...⑧
店舗や病院が開いている時のみ使用可

地区名	公衆電話数	人口	1台当たりの人口
① 取手東部	18台	18,918人	1,051人
② 取手西部	23台	30,813人	1,340人
③ 新取手・ゆめみ野	13台	13,648人	1,050人
④ 戸頭	9台	12,280人	1,364人
⑤ 藤代北部	22台	15,225人	692人
⑥ 藤代南部	11台	15,462人	1,406人
合計	96台	106,346人	1,108人

《調査結果・まとめ》

取手市内には約100か所公衆電話があり、人口約1100人に1台の割合だった。駅前や公共施設に多くあり、また、病院や老人施設、公共施設には車いす用もあった。地区別に見ると、取手西部と藤代北部は公衆電話が比較的多かった。

今回の調査で、約20か所の公衆電話を実際に行ったところ、使っている人はいなかったが、緊急時には重要な設備だと考えられるので、設置状況を確認できたことは良い経験になった。

参考文献

- 取手市公式ホームページ <https://www.city.toride.ibaraki.jp> (2022.8.14)
- NTT 東日本ホームページ <https://www.ntt-east.co.jp/> (2022.8.14)
- Gakkom (学校教育情報サイト) <https://www.gaccomm.jp/> (2022.8.14)
- (2022) 都市地図取手市 昭文社